令和4年度用

市出資法人 団体自己評価(自己評価シート)

団体名: 有限会社 大山田ファーム

所管部課名: 產業振興部 農林振興課

	5	<u>f</u>	体	名	有限会社 大山田ファーム	[企業会計用]
--	---	----------	---	---	--------------	---------

【経営基本情報】

○団体の基本情報

所 在 地	三重県伊賀市平田103番地			
HPアドレス	http://nouringyo.or.jp			
電話番号	0595-47-0151 F A 2	X 番 号	0595-47-0244	
代 表 者	代表取締役 小野 元治 設 立	年 月 日	平成14年4月1日	
市所管部等	産業振興部 農林振興課 市出資額	3,000 千円	市出資割合	74.1 %
団体の目的	農業・林業の経営、農作業の受託			

〇主な事業内容

[事業規模] (単位:千円)

	事	業	名	令 和	2 年	度	令 和 3	年 度	令 乖	口4年度	備	Ī	考
(1)	農業の	経営			58,	788		72,173		73,950			
	全事	業合計(こ占める割合		88.	10%		93.12%		85.05%			
(2)	農作業	受託			5,	625		4,622		4,935			
	全事	業合計(こ占める割合		8.	43%		5.96%		5.68%			
(3)													
	全事	業合計(こ占める割合		0.	00%		0.00%		0.00%			
(4)	(1)~(3)以外(の事業		2,	315		709		8,064			
	全事	業合計(こ占める割合		3.	47%		0.91%		9.27%			
			全事業合計		66,	728		77,504		86,949			

[事業の概要]

- (1) 稲作、転作作物の栽培及び収穫
- (2) 農作業受託
- (3)
- (4)

○財務概況 (単位:千円)

				令和2年度	令和3年度	令和4年度
正味	売上高(a)		64,413	76,796	78,885
₩ 財産増 減	売上原価	(b)		43,405	52,512	54,344
	販売費・一	般管理費	(c)	24,618	25,166	26,918
減	営業損益	(d) = (a) -	-(b)-(c)	△ 3,610	△ 882	△ 2,377
計算書	経常損益(営業損益+	営業外収益一営業外費用)	118	△ 190	5,637
書	当期純損益(経常損益+特	寺別利益-特別損失-法人税等)	△ 653	△ 263	484
貸	資産			47,238	44,973	49,189
借		負債(e)		30,034	28,032	31,764
対			資本金(基本金) (f)	4,050	4,050	4,050
			剰余金(累積欠損金)等 (g)	13,154	12,891	13,375
照		純資産(ŀ	$\mathbf{g}(\mathbf{g}) = (\mathbf{f}) + (\mathbf{g})$	17,204	16,941	17,425
表	負債・純資.	産合計(i)	=(e)+(h)	47,238	44,973	49,189

団体名 有限会社 大山田ファーム [企業会計用]

○財務に関する主な指標

	指標	計 算 式	令和2年度	令和3年度	令和4年度
安	自己資本比率	純資産/(負債+純資産)	36.40 %	37.67 %	35.42 %
定	流動比率	流動資産/流動負債	0.00 %	0.00 %	0.00 %
性	借入金依存率	借入金残高/(負債+純資産)	39.60 %	30.08 %	38.72 %
収益	売上高営業利益率	営業利益/売上高	△ 5.60 %	△ 1.15 %	△ 3.01 %
性	総資産経常利益率	経常利益/資産合計	0.30 %	0.42 %	11.46 %
効 率	人件費比率	人件費/売上高	34.90 %	21.56 %	32.48 %
性	管理費比率	販売費・一般管理費/売上高	38.20 %	32.77 %	34.12 %

〇役職員の状況

(※派遣職員は含まない)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
常勤役員		2 人	2 人	2 人	R4平均年齢: 53 歳
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R4平均年収: 5,305 千円
常勤正規聯	战員	2 人	2 人	2 人	R4平均年齢: 42 歳
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R4平均年収: 3,599 千円
その他職員		10 人	11 人	13 人	
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	

〇市からの財政的支援など

(単位:千円)

令和2年度	令和3年度	令和4年度
計 0	0	0

○団体の目標達成状況等

●中・長期経営計画の策定の有無

有	計画期間 令和5年度	一个令和9年度	策定予定時期	令和10年4月
無	,			

●中・長期経営計画による目標及びその達成状況

目	標	経営面積100.0ha.	生産量(水稲300.0t、	小麦21.0t、	大豆19.5t、	菜種4.5t)	作業受託50.0ha.
実	績	経営面積85.0ha.	生産量(水稲270.0t、/	小麦10.0t、	大豆18.0t、	菜種4.0t)	作業受託35.0ha.

●年次事業計画による達成目標

令和4年度	目標	経営面積85.0ha.	生産量(水稲270.0t、小麦10.0t、大豆18.0t、菜種4.0t)	作業受託35.0ha.
令和4年度	実績	経営面積84.1ha.	生産量(水稲270.9t、小麦15.8t、大豆14.3t、菜種2.4t)	作業受託45.8ha.
令和5年度	目標	経営面積90.0ha.	生産量(水稲270.0t、小麦15.0t、大豆19.0t、菜種2.0t)	作業受託45.0ha.

団 体 名 有限会社 大山田ファーム

<u>団体自己評価結果</u>

A(90%~100%):良好な事象や傾向がみられる B(60%~89%):やや良好な事象や傾向がみられる

C(30%~59%): 改善を要する D(0%~29%): 大いに改善を要する

	比 率	評価
目 的	83 %	В
事 業	82 %	В
経営計画	58 %	С
経営状況	78 %	В

団体自己評価表

1. 目的に対する評価

		比率	83 9	%	評価	В	回答欄	
1	1 団体の目的は現在でも社会的要請があるか							
2	民間企業等が事業の実施主体となることは不可能か						2	
3	3 市との役割分担を踏まえ、団体で実施するメリットがあるか						1	
4	4 事業内容は目的に対し意義・効果が認められるか						1	
5	5 団体が設定している目標は、目的や行政目的の達成に寄与する指標となっているか						1	
6	6 社会経済状況に応じ経営改善に取り組んでいるか						1	
7	市民に対し情報公開・情報提供しているか						3	

2. 事業に対する評価

	比率 82 % 評価 B	回答欄					
1	団体の事業全体について、成果は十分に上がっているか	1					
2	事業毎に目標を設定しているか	1					
3	目標の達成状況を評価・活用しているか	1					
4 顧客ニーズ及び顧客満足度を把握しているか							
5	顧客からの問い合わせ、意見等への対応は適切か	1					
6	内部統制は十分に実施されているか	2					
7	危機管理体制は十分に整備されているか	2					
8	組織体制は十分に整備されているか	2					
9	管理費比率及び人件費比率は適正か	2					

3. 経営計画に対する評価

		比率	58 %	ó i	平価	С	回答欄	
1	1 経営基本方針等を定め、役員・職員に浸透しているか							
2	2 中長期経営計画を策定し、運用しているか							
3	3 外部環境、経営資源を把握、評価し、中長期経営計画に盛り込んでいるか							
4	4 中長期経営計画と実績との差異を分析し、計画を見直しているか							
5	5 年次事業計画と実績との差異を分析し、改善しているか							
6	6 中長期経営計画、年次事業計画は市の方針を反映したものとなってしているか							
7	7 計画目標達成のため、人材育成・能力開発を行っているか							
8	計画の実施にあたり、進捗管理の体制が十分に整備されているか						2	

4. 経営状況に対する評価

		比率	7	8 %	評価	В	回答欄	
1	1 収支の状況は健全であるか							
2	累積欠損金が発生していないか、債務超過ではないか							
3	財務基盤についての指標は適正か							
4	収益における市への依存度は適正か							
5	総資産当期経常増減率は適正か							
6	開発用不動産等及び有価証券等の含み損益を把握しているか口							
7	債権管理は十分か							
8	借入金は返済可能か							
9	基本財産や運用財産を適正に運用しているか							
10	必要な額の特定資産(引当金)が設定されているか							

※ 回答 ①=5点 ②=3点 ③=1点 ④=0点とし各部門ごとに比率を算出しています。 比率=(合計点)/(総回答数×5点)×100 団 体 名 有限会社 大山田ファーム

《団体自己評価コメント》

目	的	設立目的が依然、社会的に求められている。
事業		団体の事業全体については、目標を設定し、目標どおりの成果を上げている。
経営	計画	令和10年度までの中・長期経営計画を策定し、目標どおり実施されている。
経 営	状 況	収支の状況について、借入金があるが財政基盤についての指標は正確で健全である。
総括コ	メント	大山田農林業公社の農作業部門を担うため設立された団体であり、今まで公社の支援をもとに充分な実績を上げてきた。今後も地域にとっては必要不可欠の団体である。しかし、設立当初の自治体からの出資をもとに運営されてきているが、今後、出資金については見直しの必要がある。

【市の審査及び評価結果】

空白:団体自己評価結果と概ね同じ評価

+:団体自己評価結果に比べて高く評価(良好な点が認められる)

ー:団体自己評価結果に比べて低く評価(課題が認められる)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令 和 4 年 度 コ メ ン ト
目的	団体自己評価	В	A	В	大山田ファームの公益事業である農地 所有者代理事業は、農業者の高齢化に
מו ם	市の評価	+	+	+	より事業目的に対する要望は年々増加している。
事業	団体自己評価	В	В	В	団体の事業全体については、大山田農 林業公社と協力し、成果が上がってい
学	市の評価	+	+	+	ると考える。
経営計画	団体自己評価	С	С	С	経営計画の目標どおりに事業を進めている と思われる。しかし、事業範囲が大山田地 区に限定されていることや生産条件不利な
性 名 前 闽	市の評価	_	-		耕作困難地が増えていることが課題である。
経営状況	団体自己評価	В	В	В	令和4年度は、新型コロナウィルス感染 症流行による消費の低迷や製造原価
1 在 名 1人 儿	市の評価	+	+	+	の上昇等の影響を受けたが、健全経営 が続いている。

《市の総括コメント》

地域農業は今後も高齢化・過疎化により就農者の減少や担い手不足による厳しい状況が続いていくことが予想されています。農業者に対する集中的、重点的支援が進められるなか、小規模・兼業農家等と役割分担のうえ相互に連携を図り、当該法人を中心とした農業構造の確立に向け、経営体質の一層の強化を図られたい。